

R5-10

保護者、地域住民の方とともに命を守る防災教育の充実

- 管内 胆振管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（科） 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

保護者・地域住民とともに行う一日防災教室
～防災学習、津波避難訓練、引き渡し訓練～

取組の実際

ねらい

- 地震、津波、噴火などの身近で起こりうる自然災害について正しく理解し、防災や減災行動について自ら考え、判断できる力の育成を図る。

内容

1 防災学習の実施

- ・ 小学校第1学年の特別活動において、親子防災教室を実施し、防災スリッパ作りを通して、防災の大切さについて理解を図った。
- ・ 小学校第2学年の特別活動において、地域と連携して、火山マイスターからの講話を通して、噴火があった際の行動について理解を図った。
- ・ 小学校第3学年の特別活動において、消防署見学を行い、消火器の使い方や暗闇歩行などの体験型の学習を通して、減災行動の大切さについて理解を図った。
- ・ 小学校第4学年の特別活動において、市防災課と連携して、段ボールベッドを作成し、避難所生活の大変さについて理解を図った。
- ・ 小学校第5、6学年の特別活動において、NHKと連携して、AR浸水体験や防災クロスロードを通して、津波被害について理解を図った。



【親子防災教室】



【NHKによるAR浸水体験】



【津波避難訓練】



【引き渡し訓練】

2 避難訓練、引き渡し訓練の実施

(1) 津波避難訓練

- ・ 地域住民にも参加を呼びかけ、高台に立地する北海道伊達高等養護学校へ避難する予定だったが、熱中症対策により、避難場所を本校の体育館とし、避難訓練を実施した。
- ・ 急遽、地震発生後に停電が起こった想定に変更し、大声での誘導や指示をするなど、実践的な対応力の育成を図った。

(2) 引き渡し訓練

- ・ 有珠山噴火や巨大地震発生時に、児童を安全かつ確実に保護者へ引き渡す訓練を行った。
- ・ 小学校第1学年を対象に実施し、引き渡しの事前準備（緊急時カード）、連絡方法、流れを検証した。

成果と課題

- 一日防災学校を通して、児童の防災意識が高まるとともに、教職員も非常変災時の対応について考えを深めるなど、学校全体の防災意識の向上につながった。
- 地域防災マスターの方の参加もあり、迅速な避難や校舎内環境整備について、専門的なアドバイスを受けることができた。
- 地域との連携をさらに深め、防災教育の充実を図りたい。
- 熱中症対策により、時期（9月6日）の見直しを検討する。